

案件概要書

2023年10月31日

1. 基本情報

- (1) 国名：セネガル共和国（以下、「セネガル」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：セネガル全土（約17百万人）
- (3) 案件名： 農業・農村開発ツーステップローン計画（Agriculture and Rural Development Two Step Loan Project）
- (4) 計画の要約：
本計画は、セネガル全土において、農業銀行（La Banque Agricole、以下「LBA」という。）への中長期資金供給を通じた生産者・農業関連企業へのツーステップローン供与に加えて、LBAへの能力向上支援及び生産者側の財務管理強化に係る教育・研修を担うセネガル川デルタ・セネガル川ファレメ流域灌漑整備開発公社（SAED）の能力向上を実施することにより、セネガルの農業・農村開発金融サービスの強化並びに生産者側の生産性及び生産物の品質向上を図り、もって食料安全保障及び農業セクターの商業化に寄与するもの。

2. 計画の背景と必要性

(1) 本計画を実施する外交的意義

セネガルは、治安や政情が不安定な国がある西アフリカにおける、政治的に安定した主要国として、アフリカ連合（AU）及び西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS）に積極的に関与し、域内の安定と発展のために重要な役割を果たしており、民主主義、法の支配等の基本的価値観及び原則を我が国と共有する、我が国にとって戦略的に重要なパートナーである。さらに、同国は、西アフリカ諸国へのエントリーポイントの一つとして、流通を始めとする経済社会活動の地域拠点となっており、同国に進出する日本企業（26社、2022年4月時点）も、ダカールの立地と治安の安定性を活かし、西アフリカ地域全体を視野に入れた活動を行っている。したがって、我が国が同国の経済発展と社会の安定に貢献することは、二国間関係の強化に加え、周辺諸国も含めた域内の発展を促進し、更には日本企業を含めた民間企業の進出促進にも資することから、意義が大きい。

本計画は、域内の食料安全保障、並びに農業の商業化・生産者から消費者までの流通の強化に資するものとして、同国の開発課題・開発政策及び我が国の協力方針に合致しており、TICAD8で掲げた「アフリカ稲作振興のための共同体」（CARD）の「コメ増産イニシアティブによる15万人の人材育成、2030年までのコメ生産量倍増」目標達成に資するものである。また、TICAD8で発表したSDGsゴール2（飢餓をゼロに）及び8（働きがいも経済成長も）にも貢献すると考えられる。

(2) 当該国における農業・農村開発金融セクター開発の現状・課題及び本計画の位置付け

セネガルの農業は、農林水産業がGDPの約15%（2021年、世界銀行）、農業分野の就業者が全就業人口の約30%（2019年、世界銀行）を占める重要な産業であり、種子・肥料への補助金や農業機械化等を通じ農業セクター発展に取り組んできた。しかし主要農産品は輸入に依存しており（主食のコメの自給率46.3%、2019年、FAO）、新型コロナウイルス感染拡大により、この体制の脆弱性が顕在化し、自給率向上が喫緊の課題となっている。農業・農村施設・食糧主権省は2022年7月に「持続的な食糧主権のための農業プログラ

ム（PASAD）（2021-2025）」を策定、コメ自給率 80%達成を目指し、農業生産性向上、農産品の高付加価値化に取り組んでいる。具体的には農業機械導入、水供給設備導入、貯蔵・加工施設整備を掲げ、機材・設備整備のための農業金融の資金充実等の金融サービス強化も戦略として挙げられている。

資金需要主体である農家及び農業関連企業（以下、「生産者」という。）の資金需要も高まっており、農業分野最大かつ 25%が政府資本である LBA（全国 40 か所に拠点）による農家等への貸付は過去 5 年で短期融資実行額（約 1.7 倍）、長期融資実行額（約 8 倍）共に増加している。一方、不確実な気象条件や農家のリスク対応能力の低さ等により、セネガル農業分野の金利は 10%~20%と高い水準（一般金利 5.1%、2017 年、世界銀行）にあり、積極的な設備投資が難しい状況にある。政府がリスクテイクを行うことによって LBA は優遇条件（現行の農業資機材向け中長期融資の金利は 7.5%）により貸出を進め投資を促進しようとしているが、現状は低い金利での資金供給は十分ではなく、資金需要の充足が課題である。

農業・農村開発ツーステップローン計画は、旺盛な資金需要に対応するため、LBA への中長期資金供与を通じて生産者の農業資機材・施設（貯蔵・加工施設等）への投資を促し、もって生産性向上及び生産物の品質向上を図るものである。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) ツーステップローン：生産者に対する中長期資金の供給。なお、LBA が円借款資金を転貸し選定された金融機関が同資金を元にエンドユーザーに融資を実施するスリーステップローンの可能性も協力準備調査で検討する。

イ) コンサルティング・サービス（事業監理、LBA の能力強化、生産者の財務管理強化に係る教育・研修を担う機関の能力強化等）

② 期待される開発効果：農業機械購入等における新規サブローン融資件数の増加（約 1,500 件の増加）。また、セネガル全土を対象としており、機械化・流通促進により、農業分野の生産性向上に寄与する。

③ 借入人：セネガル政府

④ 計画実施機関／実施体制：農業銀行（LBA）

⑤ 他機関との連携・役割分担：同様の融資事業を実施しているフランス開発庁（AFD）の経験・教訓を活用。LBA は更なる中長期的融資向け資金を必要としており、AFD の成果及び進捗を協力準備調査で確認の上、重複の有無とともに役割分担、相乗効果発現の可能性について検討する。

⑥ 運営／維持管理体制：LBA が本事業運営と共に、農家等エンドユーザー向け融資の実施、資金の適正利用を管理。また、スリーステップローンを実施する場合には LBA が円借款資金を転貸し選定された金融機関が同資金を元にエンドユーザーに融資を実施。LBA が転貸資金含め、適正利用を管理することも想定。詳細は調査にて決定。

(2) その他特記事項

● 環境社会配慮カテゴリ分類：FI

● ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

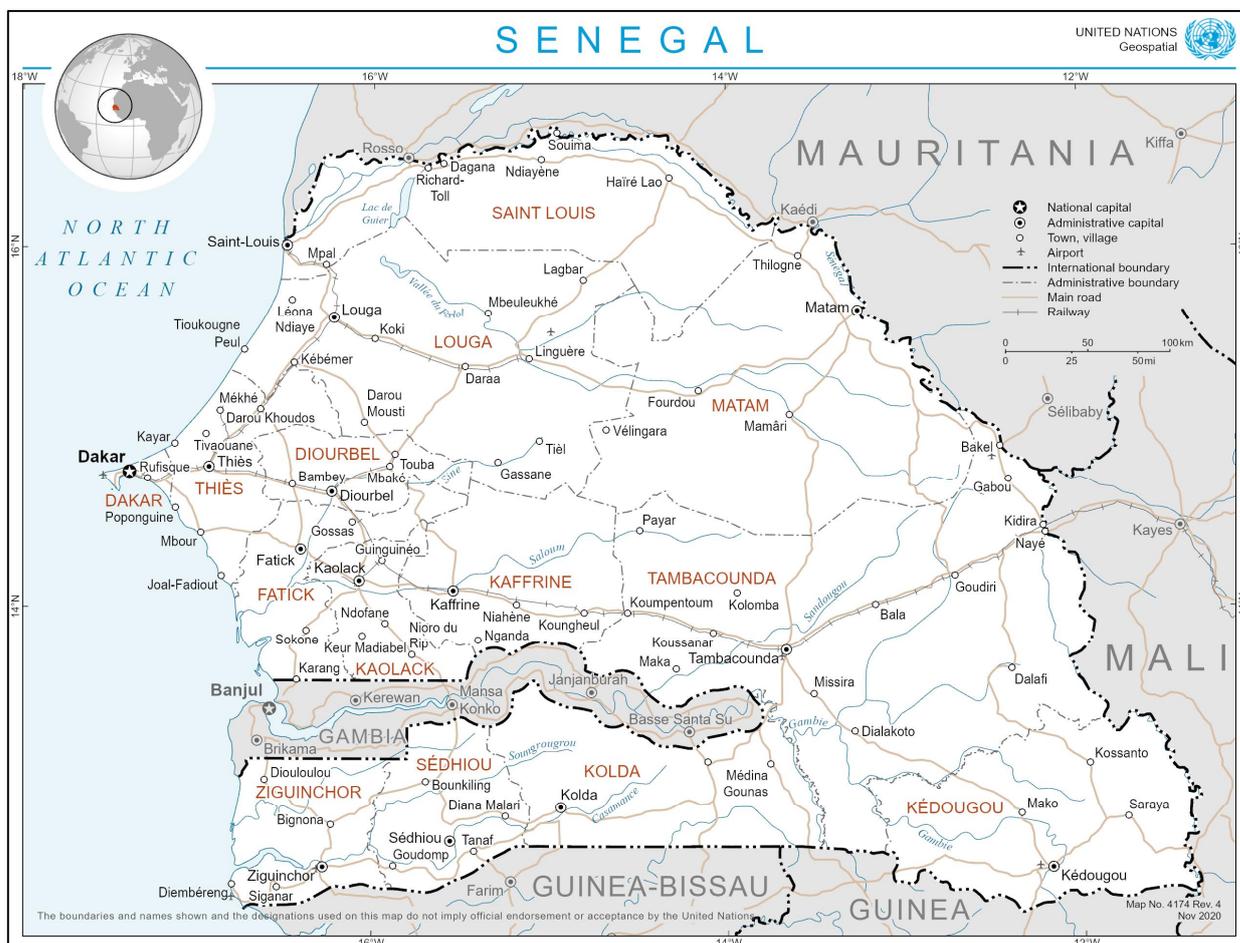
スリランカ「貧困緩和マイクロファイナンス計画」の事後評価から、融資の提供のみならず金融知識等に係る各種啓発・研修・助言等の能力開発の徹底が効果発現に重要との教

訓が得られている。本計画においても、LBA の審査能力の向上、借り手の財務管理能力強化に取り組むことで、サブローンが有効活用されるよう配慮する。

以 上

[別添資料] 農業・農村開発ツーステップローン計画 地図

農業・農村開発ツーステップローン計画 地図



計画対象地域：全土

出典：United Nations (<https://www.un.org/geospatial/content/senegal-0>)